



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和3年5月14日 No. 4
園長 安藤賢治

給食ならでの「食育」を家庭でも！

「ご挨拶をしましょう。」
「いただきます。」
「どうぞ、おあがりください。」
「ありがとう。」



○ 給食を前にして、みんなそろってのごあいさつ。

各家庭では、どうでしょうか。

「いただきます。」 これは、ありますね。
「どうぞ、おあがりください。」 作った人が？ これは、なかなか、ないのでは・・・。

(園での言葉は、本来、先生や当番の子が言っていたのですが、コロナ禍でもそのなごりで、みんなそろってのワンフリーズとなっているものです。)

* 家庭で一度、親から伝えてみてはいかがでしょうか。 子どもは、どんな反応をするでしょう。

○ 子どもたちにとって、【給食】は、刺激的だと思うのです。

特に、新入園児には「いつもと違う、これまで食したことのない“未知との遭遇”」の連続です。我々職員も、給食ならでの献立(味)があって、おいしくいただきながらも戸惑う日もありますから、子どもたちはなおさらでしょう。小中と同じ献立は、西部幼稚園の強みのひとつです。

今年度は「茎わかめのきんぴら」から始まり、「高野豆腐とレバーの揚げ煮」(5/7)などです。子ども向けではありませんが、栄養価があり小さい頃から口にすることで育つ味覚や食感など、家庭で補えない給食の良さを感じてみるという前向きさがあっても良いのではないのでしょうか。



～PS～

「ごちそうさまでした」

思い出したことがあります。祖母の言葉です。

「ごちそうさまでした。」と言うと、「お粗末様でした。」

「おそろ様でした。」と・・・。

いずれにしても、「そこに通い合う気持ち」がうれしいですね。

* * * *

<お知らせ> ・「気象警報発表時の対応について」 今年度、見直した点があります。

区分B：判断の時刻 7：30 (これまでは、~~6：30~~)

・毎月の「諸経費」について(確認とお願い)

口座振替(JA)にて徴収業務を行っています。残高不足にご注意ください。

*園に直接納金される場合は、個別に入金手続きをしなければなりません。

羽島市からの指導もあり、現金を取り扱うことをなくしています。

